

国際コンファレンス アジア市場の統合と金融革新



セッション2：アジア金融市場における適切な資金供給のあり方について

世界金融危機、金融革新、リスク資本の供給

エイドリアン・ブランデル - ウィグナル

経済協力開発機構 (OECD) 事務総長スペシャルアドバイザー、金融企業局次長

概要

先般の世界金融危機は、金融商品のリスク、なかでも投資銀行が関与した仕組み債や店頭（OTC）デリバティブなどのリスクが過小評価されていたことに起因する。その経済的コストは高く、金融規制の改革、銀行行動の変化、銀行の戦略転換につながった。今回の危機は、伝統的な国内銀行システムや国債に悪影響を及ぼし、景気が後退する中、いずれもうまく機能しなくなっている。しかしながら、地域によってその様相は大きく異なる。危機に見舞われた国の中で、米国は最も状況が改善したが、共通通貨の弱点が露呈した欧州は、危機の嵐を集中的に受けている。一方、産業改革規制・統制や管理為替相場が行われているアジア地域は、多くの点で逆の問題に直面している。この発表では、いくつかの問題を指摘した後、それらに関する政策対応について述べる。